

どんぐり村のこみ・すく通信は、更別村のホームページ、Facebookに掲載されています

どんぐり村の こみ・すく通信

令和6年4月10日発行 令和6年度 **第2号**

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

令和5年度 第4回コミュニティ・スクール委員会開催 学校運営協議会等のアンケート結果から

3月6日に今年度最後のコミュニティ・スクール(CS)委員会を開催。各学校運営協議会の報告の後、CS全体として①会議等の経過②どんぐり村子ども会議③みんなの学校応援団の登録④各学校の地域学校協働活動(地域と連携した教育活動)などの内容が報告されました。



【来年度はどう取り組もう?】

今年度のCSアクションプランの具体的取組として「子どもの自己肯定感を高めるために」について話し合い、まとめたものを確認。来年度に向けてどう具現化していくかについて協議しました。

来年度の取組の重点として、①「子どもの自己肯定感を高めるために」の継続②部活動の地域移行(改革)の理解の二本立てで進めていくことが話し合われました。

令和5年度アンケート結果から 全体的には高い評価を得る

アンケートへのご協力ありがとうございました。改善につなげます。

コミュニティ・スクールが始まって5年目。学校運営の状態やコミュニティ・スクールの導入の効果を測り改善につなげるためにアンケートを実施しました。

文科省から出ている簡単な共通項目と更別独自の項目全16項目について評価していただきました。全ての項目について4段階(満点は4点)で平均3.1点~4.0点と高い評価でした。

三校の学校運営協議会

- 【高かった項目】協議会内は忌憚なく意見を出し合える雰囲気がある。4.0
協議会委員による議論を行い、学校運営の基本方針の承認を行っている。3.9
- 【低かった項目】協議会で議論すべき課題の選定、議論の企画段階から関わることがある。3.1
学校の問題や悩みは、協議会委員の中で共有されている。3.3

コミュニティ・スクール委員会

- 【高かった項目】子どもの問題、学校や地域との連携協議について率直な意見を述べる機会がある。3.9
- 【低かった項目】子どもの意見を反映させる機会や仕組みがある。3.2

いただいた主な意見等

- 【ネット・スマホ・ゲームとの付き合い方ルール宣言】家庭や子どもの継続した意識が必要。家庭が責任をもつべき。
- 【子どもの自己肯定感を高めるための研修会や話し合い】研修会や話し合い自体は有意義だった。多くの人の参加を。
- 【CSアクションプランについて】保護者や地域の方の気づきが大事。根気強く周知していく工夫を。

カホンって楽しい!

3月7日、上更別小学校1,2年生が音楽で、更別中央中学校の細野ゆきえ教諭に本校を訪問いただき、カホンを教えていただきました。



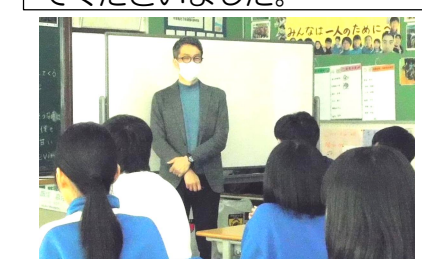
更別村の開拓の苦勞を知る

3月8日、更別小・上更小3年生が社会で、村教育委員会の阿部義昭指導員に「更別村の川や鉄道・開拓の苦勞の歴史について学びました。



一人一人がかけがいの存在

3月11日、更別中央中学校3年生にさらべつほーぷの診療所長山田康介医師が「生と死」を題材にして「生きることを考える」授業をしてくださいました。



令和5年度 みんなの学校応援団の活動